

処女の泉 (1960)

JUNGFUKALLAN
THE VIRGIN SPRING

メディア 映画
ジャンル ドラマ
製作国 スウェーデン
色彩 B&W
時間 89分
初公開日 1961/03/18
公開情報 昭映
リバイバル 2013/07/20 [マジック・アワー]
2013/07/20 [マジック・アワー]

【解説】

16世紀のスウェーデン、片田舎の豪農の一人娘がある日曜日、遠方の教会にロウソクを捧げに行く。お供の養女は、今は邪教となったバイキングの古い信仰に傾倒しており、美しく世間知らずの娘に嫉妬して途中で同行を渋る。先に出発した娘は森で三人組の少年乞食に会い、弁当を振舞うが、その優しさが仇となって殺されてしまう。その後彼らは、豪農の家に一夜の宿を求めるが、娘から奪った衣服に気づいた豪農に報復される。翌朝、娘の殺害現場に向いた彼は、亡骸を見て泣き崩れる。そして、自分のしたむごい仕打ちを悔やみ、償いとしてこの地に教会を建設すると神に誓う。すると娘の死体の下から、こんこんと泉が溢れ出す……。この上なく美しいバラッドの世界。復讐という概念を乗り越えてこそそのキリスト教信仰を、ベルイマンは静謐な映像で問いただすのだ。

【クレジット】

監督 イングマル・ベルイマン Ingmar Bergman
原作 ウルラ・イザクソン Ulla Isaksson
脚本 ウルラ・イザクソン Ulla Isaksson
撮影 スヴェン・ニクヴィスト Sven Nykvist
音楽 エリック・ノードグレン Eric Nordgren
出演 マックス・フォン・シドー Max Von Sydow テーレ
ビルギッタ・ペテルスン Brigitta Pettersson カーリン
グネル・リンドブロム Gunnel Lindblom インゲリ
ビルギッタ・ヴァルベルイ Birgitta Valberg テーレの妻
アラン・エドワール Allan Edwall